

投げ込み広告やチラシにご注意を！



【事例1】

「不要な着物や靴を買い取ります」という投げ込みチラシが家のポストに入っていた。⇒ 信用して、家に呼んでも大丈夫か知りたい。

【事例2】

「トイレのつまりを他業者より安い金額で直す」という投げ込み広告が、遠方に住む高齢の母の家に入っていた。⇒ 高額な請求になるのではないかと心配である。

【事例3】

「排水管の掃除を通常より安く行います」という投げ込みチラシが入っていた。期日の指定がされていたので、市役所からの文書だと勘違いしてしまった。⇒ 紛らわしい書き方なので、高齢者にはわかりにくくて困る。

《対処法》

- ① 投げ込み広告やチラシは、どこの事業者や団体が出しているものかを確認しましょう。
- ② 書かれている内容はどんなことなのかよく読んでみましょう。
- ③ その内容は必ず行わなければならないことでしょうか。検討しましょう。
- ④ 修理が必要な場合は、いくつかの会社から見積もりを取って、金額やサービスの内容をよく比べてから契約しましょう。



- 安易に家への訪問を許してしまい、断りきれなくなって契約してしまったという事例があります。さらに、不要で高額な契約につながることもあります。
- 不安なときは一人で決めずに、消費生活センター、家族や友人、民生委員、地域包括支援センターなどに相談しましょう。